

KANAGAWA

11

November, 2022
vol. 441

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



Contents

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ	01
建築探訪（インド）	03
特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館	05
支部だより（鎌倉支部—鎌倉から未来の担い手を 横須賀支部—みんなでつくる山の家）	07
賛助会だより	09
全国大会報告	11
賛助会フェア報告	13
編集者のつぶやき（熊本ラーメン）	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ

第5回：～市民生活を豊かにする図書館建築～

ダイクマン・ライブラリー/ アトリエ・オスロ、ルンド・ハーゲム建築事務所/2020/ オスロ
Deichman Library/ Atelier Oslo・Lund Hagem Arkitekter /Oslo

九州産業大学 建築都市工学部 教授 小泉 隆

冬の間長い時間を部屋で過ごすことが多いことも背景にか、北欧の人々は読書好きが多く、各国には優れた図書館建築も数多い。ゲンナール・アスプルンドのストックホルム市立図書館、アルヴァ・アアルトのロヴァニエミ市立図書館など近代建築の至極の名作をはじめ、フィンランド国立図書館など歴史ある美しい図書館も数多く残る。近年は、2019年に国際図書館連盟(IFLA)からPublic Library of the Year Award 2019を受賞したヘルシンキ中央図書館(Oodi)をはじめ、新しく豊かな図書館が数多く北欧各国で建設

され、SDGs的視点からも市民生活を豊かにするものとして、世界的に注目を集めている。

北欧の図書館を訪れて興味深く思うのは、館内ではおしゃべりや食事などをしてもよく、いつも穏やかに賑わっていて、静かになりたい時に「サイレントルーム」や「読書室」に入室するという、日本とは逆の考え方・構成であることだ。そしてこの点が日常生活において市民が図書館をよく利用することの大きな要因に思える。また最近の北欧の図書館は、市民生活を支える各種サービス機能の導入に力を入れていて、



建物の中心となる大きな吹抜けと各階をつなぐエスカレーター。最上階の天井に設けられた天窓からは潤沢な自然光が導かれる。

大型プリンター、3Dプリンター、ミシン、音楽スタジオ、ゲーム機等が使用できたり、行政のサービス窓口を持つ図書館もある。また空間的に豊かでメニューにも凝ったカフェの併設なども多く、これらを目的に来る市民も多い。

本稿では、そのような北欧の図書館らしさに溢れ、ヘルシンキ中央図書館と双璧をなす強力な話題作、2020年完成のダイクマン・ライブラリーを紹介したい。

オスロ中央駅からほど近い海辺の再開発地区、オペラハウス（2007年）の隣に新築されたノルウェー最大の市立図書館。カフェやショップなどがある地上階は透明ガラス張りで3カ所ある入口からアクセスや通り抜けができ、まちの一部のように馴染んでいる。ファサードは幅の狭いガラスパネルからなり、周辺環境に合わせて細かいスケールで絶妙に変化がつけられ

ている。内部は、地上5階、地下1階で、天窓からの光に満ちた大きな吹抜けをエスカレーターが貫き、吹抜けの周りには様々な場が設けられ、各階の空間が垂直方向に展開する。

読書、勉強、休憩、子供の遊び、映像視聴、楽器演奏、ゲーム等、ほとんどのアクティビティはオープンな場で行われるが、騒いだり、迷惑をかけることもなく、個々人が自由な行動をとりながらも共存する社会を理想とする、北欧の人達の公共空間での成熟した振る舞い方も学びたいところだ。それぞれの階の各所には透明ガラス窓の部分があり様々な方向の景色が望め、2階の屋外カフェはオペラハウスや水辺の景色を楽しむ絶好のスポットになっている。

〔写真は全て小泉隆撮影〕

■参考文献

『北欧の建築 500の建築・都市空間』小泉隆+九州産業大学小泉隆研究室、2022年3月、学芸出版社



最上階の階段状のオープンスペース



吹抜け周りのオープンスペース



オープンスペースにある楽器演奏のコーナー



2階の屋外カフェ



1階のショップを吹抜けから見下ろす



再開発地区の海辺に建つ。右にはオペラハウスが隣接

インド・チャンディーガルのル・コルビュジェ

I.はじめに

2013年10月、私は建築関係の友人たちとインド、バングラデシュへのツアーを企画しル・コルビュジェとルイ・カーンの作品を中心にインド、バングラデシュを舞台にした近代建築の巨匠の作品を探訪してきました。インド・デリーに夕刻到着しホテルに向かうバスを空港駐車場で待っている間にも汗ビッシヨリになり、10月とはいえ蒸し暑い夜が待っていました。ホテルに着き、冷えたタイガービールを飲んだ時の爽快感は忘れられません。翌日からアーメダバードを皮切りに8日間のインド、バングラデシュの建築探訪を開始し多くの建築を見ました。本稿ではチャンディーガルに絞って報告します。

3 II. チャンディーガルのル・コルビュジェ

チャンディーガルの地理的特徴や歴史はWikipediaに詳しいのでここでは省略し都市のマスタープランといくつかの建築に絞って報告します。私が学生の頃に教えられたこの地の発音は「シャンディガル」でしたが、これはフランス語読みで、現地では「チャンディーガル」という発音が正しいようです。

コルビュジェは1920年代から30年代にかけて「人口300万人の現代都市」「ヴォアザン計画」「輝ける都市」などの都市計画案を既に発表していました。そして1950年に入ってこの地の新都市設計を依頼されました。当初は人口15万人の居住を想定し、その後人口50万人の都市として計画されましたが、現在は75万人が居住しています。新都市の基本的なゾーニングとインフラの構造はCIAMの都市計画の原則を踏襲しています。したがって道路計画は8段階のヒエラルキーに従って歩車道分離の道路網として整備されています。北端に位置するキャピトル・コンプレックスと呼ばれる行政区にコルビュジェ

露木建設(株)一級建築士事務所 露木 直巳
エの晩年の代表作があります。まず目につくのは「行政庁舎（セクレタリアート）」。高さ35メートル、全長250メートルの板状の事務所ビルは圧倒的なボリュームでそびえています。



セクレタリアート、行政庁舎全景

この建物はコルビュジェが提唱した近代建築5原則の要素がそのままの形でデザインされています。「ピロティ」を通して主玄関ロビーに導かれます。「自由な平面」は、細い円柱のRC柱にスラブで構成された開放的な執務室として設計されています。「自由な立面」は巨大な面が単調にならないよう内部の機能分けとともに数種類のパターンを組み合わせ彫刻的で立体感のあるデザインです。「屋上庭園」はマルセイユのユニテダビタシオンと似たようなスケール感の展望広場となっています。



行政庁舎屋上と私

ここから「高等裁判所(ハイコート)」、「州政府議会棟(パラメント)」さらに有名な「開かれた手」のモニュメントをはじめ行政区全体をパノラマのように一望できます。



州政府議会棟および、キャピトル全景

「州政府議会棟」の正面の壁柱と大きく湾曲する庇はよく知られていますが、その背後に控える100m角の議事堂の立面は45度に振った奥行き深いブリーズソレイユで構成されています。



州政府議会棟渡り廊下

キャピトル・コンプレックスで私が一番好きな建物は「高等裁判所」です。



高等裁判所全景

赤、黄、緑の巨大な壁柱で支えられた立体ヴォールトの大屋根に覆われた屋外型のエントランスロビーから4層上の屋上にまで誘導するスロープが前面に見える構造。



高等裁判所入り口ゲート

立面はシンメトリーを嫌いランダムに組み合わされたブリーズソレイユと壁柱に機能とは関係なく開けられた開口との構成で「自由な立面」を実現しています。

この行政区にはあの「開かれた手」のモニュメントがあります。



高等裁判所入り口2



開かれた手のモニュメントを大切にしたコルビュジェが常々描いてきた手のスケッチの集大成と考えられます。チャンディーガルは都市計画、建築、インテリアデザイン、壁画に至るまで、一人の建築家を中心にすべてがデザインされた壮大な新都市であり、そのマスタープランは今現在も建設の過程にあります。

III. 終わりに

ル・コルビュジェは上記に述べた建物以外にショーダン邸やサラバイ邸などの個人邸宅を設計しています。また、アーメダバードとチャンディーガルでは「成長する美術館」のコンセプトに基づく外壁をレンガで覆っている美術館2館を完成させています。インドにはこれら以外にも多くの見るべき価値のある歴史的な建物や近代建築が数多くあり、何度でも訪れたいと思う魅力的な地域です。

特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館

山口蓬春記念館

横須賀支部 合同会社 戸井田設計 戸井田 顕



山口蓬春記念館は、吉田五十八の設計した日本画家の山口蓬春の住宅兼アトリエです。山口蓬春は1948年から亡くなる1971年までをここで過ごし、その後、大江匡による改装工事を経て1991年に山口蓬春記念館として公開されました。

見所はたくさんありますが、アプローチもその一つです。大江匡による門は、黒いフレームと大きなガラスが印象的です。庭の緑の中をゆるやかにカーブしながら玄関に続く階段は、とても印象的なアプローチで、建物への期待を膨らませてくれます。



もう一つの大きな見所はやはり画室だと思います。一見普通に見える建具枠はテーパーをとって細くシャープに見えるようにしていますし、照明も非常に細い枠で天井と一体となるように作られています。大きな窓からは、外の景色がよく見えて、吉田五十八らしいとても静かで明るい空間です。

山口蓬春記念館のすぐそばには、神奈川県立近代美術館 葉山館があります。神奈川県立近代美術館までは、徒歩で4～5分の距離ですし、一色海岸も葉山御用邸もとても近いので、是非訪れてみてください。

住所：〒240-0111神奈川県三浦郡葉山町一色2320

電話：046-875-6094

アクセス：JR逗子駅 京浜急行バス3番乗場 / 逗子・葉山駅（京浜急行線）南口2番乗場

海岸回り葉山行（逗12）、「海岸回り福祉文化会館行（逗11）」にて約20分

「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 徒歩2分

開館時間：午前9時30分～午後3時30分(入館は午後3時まで)

休館日：毎週月曜日

入館料：一般600円

横浜開港資料館

横浜支部 アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆



「横浜開港資料館」は、横浜市中区海岸通りに面した神奈川県庁本庁舎の向かいにあり、開港資料館としては1981年(昭和56年)に開館しました。その名の通り、横浜の開港の歴史を様々な視点で展示しています。

開館時に建築して現在運用している新館と旧館(旧英国総領事館)で構成され、旧館は1931年(昭和6年)に竣工した歴史のある建築です。中央中庭に伸びる「たまくすの木」は、1854年(安政元年)の日米和親条約締結の時からあると伝えられているそうです。当時の開港を記したペリー



横浜上陸の記録絵をご覧になられたことがありましたら、その絵の右側に描かれた木が、今も生える「たまくすの木」だそうです。

館内は開港に関する様々な資料や当時の写真が展示されていますが、見どころは旧館(旧英国総領事館)です。横浜は開港からの歴史は160年を過ぎていますが、中区で現存する昭和初期までの建築物は約40棟、当旧館は90年を超える歴史の重みを感じられます。壁や床の素材の色や質感、ディテールなどは、現在の建築では採用しない時間を感じる表現方法を見ることができます。

旧館は今後も永く使い続けるために耐震化や改修工事が2031年の旧館100周年の節目を目指して、少しずつ工事が進められています。横浜市内にある昭和初期までの建築物は官公庁や企業が用いる建築が多いため、誰でも気軽に訪れることができる数少ない当旧館は、身近に小さな歴史を感じるには程良い資料館です。



【住所】〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通3

【開館時間】9:30～17:00

【休館日】月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合は開館して翌日が休館)

【入館料金】一般個人200円、小中学生・横浜市内在住65歳以上100円

【駐車場】なし

【アクセス】みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩2分
JR線・横浜市営地下鉄関内駅から徒歩約15分
横浜市営バス・神奈川中央交通 日本大通り駅前バス停から徒歩1分

鎌倉から未来の担い手を

鎌倉支部 (有)波形住建 波形 知良

コロナ禍の中、大勢の人たちが集まるイベント活動が滞っていましたが、第22回鎌人市場2022が10月16日に鎌倉海浜公園由比ガ浜地区（通称：由比ガ浜海浜公園）で開催されることになりました。

由比ガ浜海浜公園は、2023年度内に障害の有無にかかわらず利用できる遊具を備えたインクルーシブ公園に生まれ変わる予定です。

また、遊びやすさや同伴者の見守りのしやすさなどを考慮し、公園整備後も生活科や総合的な学習の時間に活用できるよう、小学校に情報提供などを進めていくとしています。

このようなハード・ソフトの両方を備えたインクルーシブ啓発の場所で、人が住む家を作る「建築士」のイベントを行う意義は大きいと考えられます。

前回の催しでは、手作りスマートボールを3台設置し、多くの子どもたちが温もりある木製のゲームを楽しみました。

そして、大人向けには耐震補強工事のパネル展示を行い、耐力壁の必要性和配置を説明し、納得していただきました。

今回の鎌人市場でも、同様のものを行いたいと考えています。



〈未来の建築士育て！！〉

深沢地区に、“地域でつくるみんなのスタジアム構想「鳩サブレースタジアム(通称：鳩スタ)」”が出来ました！鳩スタの方々にもご協力いただき、今後さまざまなイベントを考えていきたいと思っています。

例えばですが、「みんなで遊具を作ろう！」、「青空木工教室」、「畳の上で抹茶体験」、「建前体験→耐震のしくみを知る」など、子どもたちが本物の木や畳の香り・感触を肌で感じ、五感を育ていける体験イベントをたくさん企画していきたいと思っています。

そのような体験を通して、人は将来、建築にも興味やこだわりを持てるのではないのでしょうか。「こだわりの家を建てるのはハードルが高い」という垣根を少しでも低くしてもらおうよう、私たち建築に携る者が子どもたちと楽しく遊び、一緒にワクワクしていきませんか！？



2019年 鎌人市場

夢中で遊ぶ子どもたちの目の輝きにはいつも驚かされます。



鳩サブレースタジアム

みんなでつくる山の家

横須賀支部長 (株)アスデック建築事務所 小泉 厚

横須賀は海、山ありの自然に恵まれた環境で、かつては谷戸にも多くの人が住んでいました。しかし、時代の流れと共に住民が谷戸から離れるようになり、空き家が増え、谷戸の対策が選挙公約になるほどの話題となっています。

そこで横須賀の「人口減少」「空き家問題」「地域のコミュニティの崩壊」などに対して何かできないかという話から、私たち横須賀支部の有志、建築士、行政の方（個人参加）、元UR都市機構の方達と共に約7年前に「谷戸再生プロジェクト」という名で活動を始めました。

谷戸地区には車の入らない狭い道路や階段が多く人も住まない手つかずの空き家が増え、持ち主も周辺の住民も深刻な状況に陥っています。

そこで実際に谷戸の空き家を利用し、谷戸に入って生活をし、この地域の変遷を周囲の人たちと共に感じながら、「地域コミュニティの復活」、「新しいコミュニティ創造」を谷戸から発信しようではないかという事になりました。

我々の活動拠点「みんなでつくる山の家」は特に古民家ではなく普通の昭和の家です。

十数年使われずにボロボロだった空き家を賃貸契約して、「みんなでつくる山の家」と命名して活動をしています。三浦半島で海の家があ

るから山の家であってもいいのでは、また、メンバー以外の多くの方にも参加してもらおうという意味を込めて名付けました。

かなり傷んだ空き家を借りてリノベーションしながら、月1回の定例会を行い（現在はとぎれとぎれですが）、町内会にも入り地域イベント（お祭りや餅つき大会等）への参加、独自に企画した地域の方々との交流を目的としたイベントの企画（敬老の日の寄席、食事会、音楽イベント等）を行っております。また近隣にはこの地域の魅力や自然環境に惹かれていろいろな方が集まり始めており、お互いの交流から新たなコミュニティが生まれています。

現在はコロナ禍の影響で活動は自粛気味ですが、“わいわいがやがや活気のある谷戸”として「横須賀の山は面白い」このようなイメージで地域を盛り上げて行ければと思っています。ちなみにこの建物が建つのは下の駐車場から階段を約200段上った非常に厳しい場所ですが、到着後には階段を登り切った達成感、そして喉を潤す楽しみが待っています。

また、80歳を超えた元町内会長とは現在でもプライベートでお供をし、人生を学ばせてもらっています。



「敬老の日の食事会」風景



「ジャズライブ」風景



「山の上寄席」風景



周辺の道をデザインした手ぬぐい 色違いもあります

※次号より「支部便り」は「支部のページ」となり、支部内の自由なページ（活動、作品紹介、人物紹介、地元の名所・歴史紹介等）として発信できる場としていただければと思います。

賛助会だより

ゲリラ豪雨対策の非住宅建築物の雨水排水システム

積水化学工業株式会社 東京建材直需営業所 営業担当 奥島 青空

昨今、ゲリラ豪雨が増加しており、建物の雨水排水設計の基準が高まっています。また、施工現場での人手不足や、資材・人件費の高騰が問題となっております。積水化学では、このような社会問題を解決するための製品として、意匠性・施工性・経済性に貢献するサイフォン式雨水排水システム「高排水システム」をご提案しております。

「サイフォン」とは、水位の高低差を利用して連続的に液体を搬送する現象のことです。つまり、高排水システムは、堅といの高さを利用して排水能力を引き上げています。高排水システムは、従来までの雨といと比較して、堅といの径を約半分にサイズダウンさせることができます。堅といがサイズダウンすることによって、建築物の見た目がすっきりとなる、工事の手間が減る、コスト削減等のメリットが生じます。

弊社の高排水システムは2種類の製品がございます。1つ目は、工場・倉庫等の軒といがつく折版・金属屋根が対象の「大型高排水システム」です。4年前の発売以降、全国で約900棟の採用実績があります。2つ目は、RC造等の陸屋根かつ外といが対象の「陸屋根高排水システム」です。22年5月に発売した新製品です。

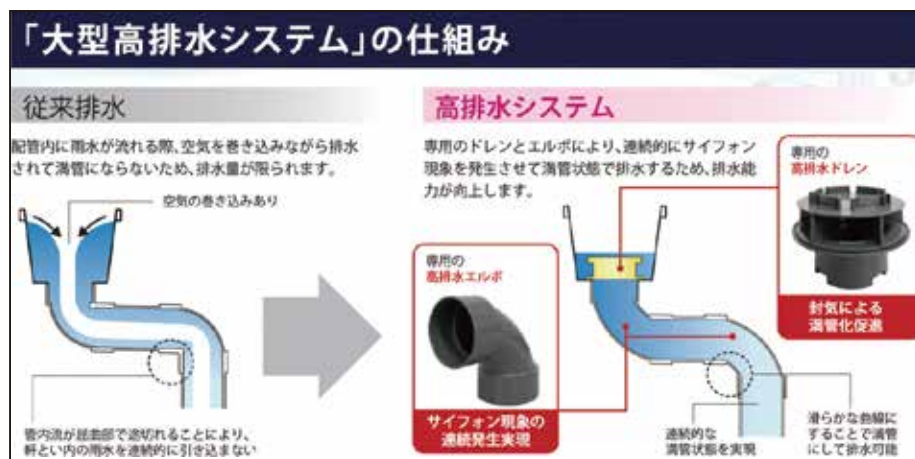
高排水システムを使用する際は、サイフォン現象を発生させるための条件が何点かございます。詳しくは弊社ホームページにあるカタログをご参照ください (<https://www.es->

[lontimes.com/kenzai/catalog/](https://www.es-lontimes.com/kenzai/catalog/))。もし採用をご検討いただく場合は、図面をご送信

いただければ、弊社にて条件の判定と雨水排水計算をさせていただきますことも可能です。

まずはお気軽にお問合せください。

こちらのURL (<https://www.youtube.com/watch?v=SIJsulGav00>) より、大型高排水システムの排水実験動画がご覧頂けます。是非、サイフォン式の排水能力の高さを実感してみてください。



大型高排水システム

屋外 折版屋根・金属屋根

250A → 125A
200A → 100A
150A → 75A

New 陸屋根高排水システム

屋外 陸屋根・中低層向け

堅といサイズダウン

150A → 75A
125A → 75A

【問合せ先】

積水化学工業株式会社 東京建材直需営業所
営業担当 奥島
TEL: 03-6748-6514
E-mail: seira.okushima@sekisui.com

賛助会だより

構造適判の電子申請、承ります！

株式会社建築構造センター神奈川事務所 古賀 義孝

弊社は構造計算適合性判定機関として国交省から委任を受けて、建築物の構造に係る安全性について判定を行ってまいりました。

近年は国のDX戦略にともない、申請図書の捺印の省略に始まり、電子データによるやり取りも推し進めていく必要性が高くなってきております。これを受けまして、この度弊社では独自の電子申請システムを構築し、国交省からも認可が下りましたので、構造適判申請においても電子申請が可能となりました。

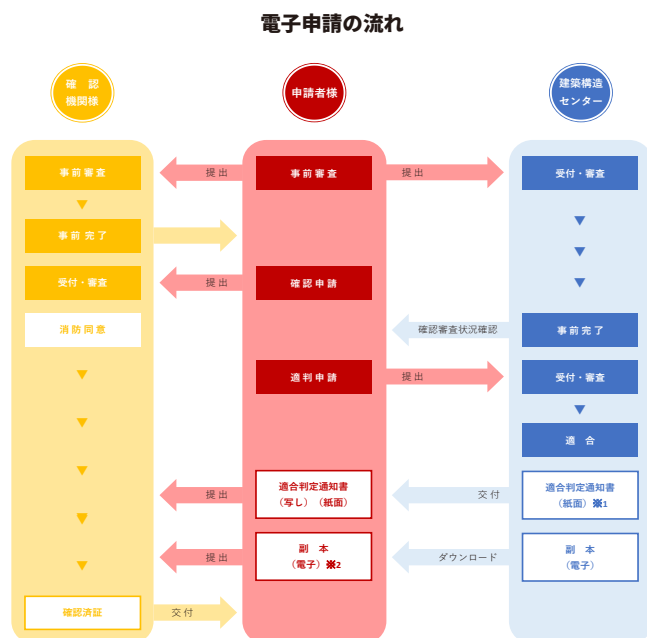
事前審査については一応非公式扱いであったため、電子申請など行っても特に問題はありませんでしたが、正式な本申請については、これまで電子申請は認められておりませんでした。

した。これがこの度の国交省からの認可を受けて電子申請ができる運びとなりました。

昨今確認申請機関も電子申請を扱うところも増えてきておりますので、構造適判機関も

同様に電子申請を許容できる体制作りは必至のことと捉えておりました。

構造適判機関で電子申請ができる機関はまだわずかと聞いております。電子申請にご興味ある事業者様、また、とりあえず電子申請の前に紙面で申請してみてから、とお考えの事業者様、是非お問い合わせいただければと思います。



※1 適合判定通知書は紙面で交付いたします。

※2 副本（申請書、図面等）はWeb申請システムからデータをダウンロードしていただきます。

電子申請のメリット

事前申請から本申請まで、全てペーパーレスで申請できる

適合処理後の副本図書は、即日ダウンロードできる

24時間いつでも申請ができる

受付や質疑提示など、作業毎にメールで通知が受け取れる

など

株式会社建築構造センター神奈川事務所

〒220-0011

神奈川県横浜市西区高島2-12-6

崎陽軒ビルヨコハマ・ジャスト1号館7階

TEL : 045-534-7773

E-mail : kkc-info05@kozocenter.co.jp

全国大会報告

全国大会（熊本大会）のご報告

相模原支部 スタジオアートクリエイター級建築士事務所 杉本 勝郎

去る9月30日、3年ぶりの第44回建築士事務所全国大会が熊本で行われました。参加者総数1200名の中、神奈川会では47名が参加しました。本大会のスローガンは

「大自然の脅威に耐えて 今 そして未来へ」
2016年の熊本地震、2020年の豪雨災害を経験してきた熊本会ならではのものと感じました。

神奈川会としての注目は、日事連会長賞（小規模建築部門）を受賞した 上有住地区公民館 PERSIMMON HILLS architects 設計の授賞式と年次功労者表彰を受けた 横浜支部の小澤勝美 前副会長の授賞式でした。



復興成った熊本城



くまモンと



終了後のひととき



やっぱり馬刺しでしょ



会場「熊本城ホール」

基調講演、パネルディスカッションを経て授賞式を終えた後、パーティーに出席し交流を深めた人、早々に熊本の夜の街に潜って行った人、様々ではありましたが、楽しい熊本の一夜を過ごしたであろうことは想像に難くありません。

全国大会報告

青年話創会から全国へつながる仲間

青年部会運営委員会委員長

建築総合企画ジーボックス一級建築士事務所 横山 尊重

令和4年9月29日

3年ぶりに開催されました！

青年話創会2022熊本大会です。



青年話創会2022熊本大会



LOOKUPkumamoto
キャンペーン動画

今回の開催テーマは『つながる建築、つなぐ人〜ブロック青年部会の構築、その先へ〜』と題され、熊本会スタッフ・オブザーバー含め約140名の参加者が日本全国から集いました。

15時から約3時間、各種報告から始まりテーブルごとの討議と発表まで、熱い熱い時間を過ごしました。



会場全景01



会場全景02

テーブル討議では、

- ①ブロック青年部会の設立とその役割について
 - ②会員増強と次世代育成について
- というテーマでテーブルディスカッションが行われました。

今回はブロック毎(私は関東甲信越のテーブル)11名での討議です。Web会議で面識のある方とは、リアルでお会いし名刺交換をすることが出来ました。テーブルでの討議では各単位会の現状と抱える問題から、ブロックで集まることの意義は十分にあるとの認識が出来ました。

また、青年世代の人数が少ない事や次世代育成へのヒントになる各単位会の取り組みなども聞くことが出来ました。

その中で、このテーブルでは会員の【メリット】について話が盛り上がり、神奈川会と各単位会の抱える問題が共通しているという認識を共有することが出来ました。

最後に、各テーブルより討議の結果を発表後、3時間+aと少し時間を延長して青年話創会は終了します。

今回の熊本大会では、テーブル討議で出たキーワード【メリット】という言葉が全体の総括となりました。

その後、同じ施設の別会場で懇親会が始まりました。



懇親会会場全景



児玉会長ご挨拶

乾杯が終わり、少し空腹だったお腹を満たしてから、他のテーブルを回っていると…。

「おお〜、ご無沙汰してますっ。元気でしたか？ 変わらないですね!!」…と3年前福島大会の時に話創会で夜中までご一緒していた北海道会の方。

なぜか3年前はシシャモの話で盛り上がり、神奈川に帰ってきてから、北海道のシシャモを送って来てくれた旧友。

会えなかった3年間はなかったかのように、とりとめのない話が始まりました。

最後に、「また会えてよかった。なんか同窓会みたいだね。我々が会って話してると。」

「また会いましょう。今度はお互い少しは成長してね。」と固い握手を交わして別れました。

そうして懇親会が終わり、青年話創会2022熊本大会は、盛況の内に幕を閉じました。

そしてここからが本番!? 熊本会や近畿ブロックの方々にお声掛けを頂き、2次会・3次会と熊本で仲間と熱く語り合い、夜はふけていくのでした。

青年話創会、こうして仲間が集まり、話することそのものに非常に大きな【メリット】があると感じる一日でした。



二次会会場にて

神事協賛助会フェア報告

神事協賛助会フェア報告

会報誌編集特別委員長 (株)アスデック建築事務所 小泉 厚

3年ぶりとなる神事協賛助会フェアが9月15日（木）16日（金）の2日間、大和市文化創造拠点シリウスの1階芸術文化ホールギャラリーで開催されました。

このシリウスは施設全体を一つの図書館空間とみなした新しいスタイルの図書館で、年間300万人と非常に多い来館者が訪れる施設です。この施設での賛助会フェア、関係者以外の方にも大いにPRできたのではないかと思います。

さて、今回は賛助会より17社が出展しました。3年ぶりとなつて、久しぶりの担当者との再会、そして初めての方との名刺交換等あたたかな雰囲気の中、各社、新しい製品や情報の説明等熱のこもったPRを行っていました。

昨今、ネットで情報等が得られる中、やはり、担当者から生の説明を聞いたり、サンプルを手にとって素材を確かめたりすることが、1つ上の設計を進める上での醍醐味かなと思いました。

未来に向けて最新建築資材関連の総合展示会 神事協 賛助会フェア

建物・住まいに関する新しい提案をここ湘南から発信します。
(一般の方のご来場も心よりお待ちしております)

9月15日(木) 13:00~17:00
16日(金) 10:00~17:00

会場 / SIRIUS (大和市文化創造拠点シリウス) 1F
芸術文化ホールギャラリー
主催 / (一社) 神奈川県建築士事務所協会賛助会
後援 / (一社) 神奈川県建築士事務所協会

ACCESS
SIRIUS (大和市文化創造拠点シリウス)
大和市大和南1丁目8番1号 ☎046-263-0214
小田急江ノ島線・相鉄本線 大和駅から徒歩3分



**新会員
募集中**

ただいま
神奈川県建築士事務所協会では
新会員を募集しております。
詳しくは下記まで
お問い合わせください。

出展企業 16社

日鉄建材 (株)	(株) アイジーコンサルティング
三和シャッター工業 (株)	(株) JFDアドバンスサーベイ
(株) トーテック	日本ERI (株)
ケイミュー (株)	(株) サンクビット
タキロンマテックス(株)	田島ルーフィング (株) 横浜営業所
三興商事 (株)	セイキ販売 (株)
(株) 都市計画地盤研究会	(一財) 神奈川県建築安全協会
YKK AP (株)	横浜菱住 (株) (順不同)

(一社) 神奈川県建築士事務所協会

TEL:045-228-0755 FAX:045-212-3807 E-mail: info@jkana.or.jp

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201-2階



展示会場風景



会場となったシリウス外観



会場入口

出展企業

・日鉄建材 (株)	・田島ルーフィング (株) 横浜営業所
・(株) アイジーコンサルティング	・三興商事 (株)
・三和シャッター工業 (株)	・セイキ販売 (株)
・(株) JFDアドバンスサーベイ	・(株) 都市計画地盤研究会
・(株) トーテック	・(一財) 神奈川県建築安全協会
・日本ERI (株)	・YKK AP (株)
・ケイミュー (株)	・横浜菱住 (株)
・(株) サンクビット	・福井コンピュータアーキテクト (株)
・タキロンマテックス (株)	(順不同)

新入会員の紹介

横浜支部

中村孔明デザイン工房二級建築士事務所 中村 孔明
〒221-0866横浜市神奈川区羽沢南1-19-17
TEL.080-3275-7612

藤原酒谷設計事務所 酒谷 真名美
〒236-0042横浜市金沢区釜利谷東1-24-8
ルンビニー つながりの庭 1F
TEL.045-353-3532/FAX.045-353-3532

株式会社Y S プラニット 一級建築士事務所 岩下 俊一
〒231-0012横浜市中区相生町1-15 第二東商ビル4-C
TEL.045-210-9811/FAX.045-650-8267

株式会社オーシャンブリーズ 一級建築士事務所 助川 正之
〒227-0062横浜市青葉区青葉台1-5-2
TEL.045-482-3344/FAX.045-985-5225

川崎支部

SHIN設計室一級建築士事務所 平井 慎一
〒216-0003川崎市宮前区有馬6-11-1
TEL.090-6956-1617

鎌倉支部

インターフェイス建築設計事務所 池田 和繁
〒248-0005鎌倉市雪ノ下1-14-18-102
TEL.0467-73-7410/FAX.0467-73-7422

秦野支部

新進建設株式会社 一級建築士事務所 興津 壮人
〒257-0012秦野市西大竹116-1
TEL.0463-82-6014/FAX.0463-83-0714

退会者

横浜支部

株式会社川島総合設計一級建築士事務所 川島 良夫

変更

横浜支部

O+Solution
(所在地、TEL変更)
〒231-0015横浜市中区尾上町4-47 リスト関内ビル405
TEL.045-264-8802

ディーオーケープランニング一級建築士事務所
(所在地、TEL変更)
〒247-0026横浜市区犬山町33-4
TEL.045-777-0634

日産ネットワークホールディングス株式会社一級建築士事務所
(指定代表者変更)
大橋 雅之

横須賀支部

Archi-JAM Workshop 合同会社 一級建築士事務所
(FAX変更)
FAX.046-854-5670

湘南三浦支部

天羽設計一級建築士事務所
(事務所名変更)
旧) an建築設計一級建築士事務所

賛助会入会者

株式会社日本トリム横浜営業所

会 勢

支部名	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	245	251	10	4	6
川 崎	103	108	7	2	5
横 須 賀	50	51	1	0	1
湘 南 三 浦	17	16	0	1	-1
藤 沢	35	34	0	1	-1
鎌 倉	38	39	2	1	1
茅ヶ崎 葉川	14	14	0	0	0
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	13	14	1	0	1
伊 勢 原	5	5	0	0	0
大 和 綾 瀬	19	18	0	1	-1
厚 木	31	31	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	16	15	0	1	-1
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	63	0	0	0
県 西	39	38	2	3	-1
合 計	728	737	23	14	9
賛助会員	95	96	1	0	1

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

日事連全国大会、熊本に行ってきました。

熊本来れば、やることは数多あれど、熊本ラーメンを堪能することより大事な事は思いつきません。九州ラーメンとひとくりにすると九州人は怒ります。確かに豚骨スープに麺は、白い細麺。発祥の地は久留米と言われておりますが、その後博多ラーメン、熊本ラーメン、鹿児島ラーメンと派生して行きました。

そんなことは置いて、熊本ラーメンは、豚骨スープに鶏がらスープをブレンドし、麺は中太ストレート麺、最大の特徴はニンニクを揚げて作った黒マー油、ニンニクチップにきくらげのトッピングが基本です。出来る限りの時間を絞り出し、熊本ラーメン探索に街に出ました。



まずは「黒亭」



次は穴場「二刀流」



最後は東京にも出店している「桂花」



番外編にこれも熊本名物「太平燕」
ちゃんぽん風スープに麺は春雨です。
ラーメン放浪記 おそまつでした。

(相模原支部 スタジオアートクリエイター一級建築士事務所 杉本 勝郎)

◆◆◆令和4年度 入会金&会費無料キャンペーンの実施について◆◆◆

現在、当会では『令和4年度 入会金&会費6ヶ月間 無料キャンペーン』を実施中です。

会員の皆様におかれましては、まだ当会へ入会されていないお知り合いの建築士事務所様への周知等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<制度内容>

◇入会金30,000円および入会時から6ヶ月間の会費を免除

◇適用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
のご入会分

※詳しくはキャンペーン特設ページをご参照ください。
→https://j-kana.or.jp/architect_news/4908



KANAGAWA 令和4年11月号 (通号441号)

発行 令和4年11月1日 (奇数月1日発行)

発行人 白井 勇

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F

TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 杉本 勝郎 小松 正道

会報誌編集特別委員長 小泉 厚

会報誌編集特別副委員長 加藤 一郎

会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆

森本 和樹 戸井田 顕

中原 尚代 仙波 弦

事 務 局 久保田 千尋



今月の表紙

横浜マリンタワー

横浜おなじみの景色ですが、横浜マリンタワーは改修工事のため3年間半休館しており、この秋から再びオープンしました。当初は灯台としての機能のために1961年に竣工してから60年余り、大規模なリニューアル工事2回を経て内外装とも現在にも通用する観光施設になっています。昭和から令和にかけての横浜の発展を見つめてきたマリンタワーを再び訪れてはいかがでしょうか。（表紙写真・文章／小河 泰隆）



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association